

## 「もんじゅ」後備炉停止棒駆動機構 2号機の動作不調について

## 1. 概要

高速増殖原型炉もんじゅ（定格出力28万kW）は、現在、平成22・23年の設備点検を実施しています。

この設備点検における計測制御系統施設の制御棒駆動機構\*1の点検において、平成23年12月20日、後備炉停止棒駆動機構の2号機の動作不調が確認され、その後、点検・調整を実施し、動作確認を行った（1/20）結果、異常のないことを確認しました。

動作不調が一時的に発生した後備炉停止棒駆動機構1号機（12/12発生、点検後、12/14動作確認し復旧）及び2号機について、モータ、電磁ブレーキ等の詳細調査を行うため、メーカー工場で点検を実施します。【平成24年1月20日 敦賀本部週報にてお知らせ済み】

なお、全ての制御棒\*2は、正常に制御棒駆動機構のラッチ部\*3から切離され、炉心に全挿入された状態になっており、安全上の問題はなく、環境への影響もありません。

- \*1：制御棒駆動機構は、原子炉容器上の回転プラグ（上蓋）に設置され、ラッチ部で制御棒を結合して（掴んで）モータで上下させる装置です。3基の微調整棒駆動機構、10基の粗調整棒駆動機構と6基の後備炉停止棒駆動機構があります。
- \*2：制御棒には、調整棒（主炉停止系）と後備炉停止棒（後備炉停止系）があり、調整棒は、更に、微調整棒と粗調整棒に分けられます。調整棒は、出力を調整するための制御棒で、後備炉停止棒は、主炉停止系のバックアップ用で、運転中は全引き抜き状態にある制御棒です。
- \*3：ラッチ部は、制御棒駆動機構と制御棒を機械的に結合、切離す部分です。

## 2. 時系列

月 日	主な作業
H22.9.15	計画的な設備点検における分解点検のため、1号機及び6号機の取外し
H22.9.19～H23.11.7	メーカー工場へ発送→分解点検（内部部品の外観点検、絶縁抵抗、導通試験）及び作動試験を実施→「もんじゅ」へ発送
H23.11.8～11.14	「もんじゅ」へ搬入→「もんじゅ」にて気中試験（作動試験）を実施
H23.11.19	原子炉炉上部へ1号機及び6号機の据付け
H23.12.12	1号機の動作確認→動作不調
H23.12.14	1号機の電磁ブレーキの単体作動試験を実施
H23.12.14	1号機の動作確認→正常に動作
H23.12.20	2号機の動作確認→動作不調 3～6号機の動作確認→正常に動作
H23.12.20～H24.1.19	2号機の調査、点検（準備作業を含む）
H24.1.20	2号機の電磁ブレーキの単体作動試験を実施
H24.1.20	2号機の動作確認→正常に動作
H24.1.21～	1号機及び2号機の原子炉炉上部からの取外し作業を実施中

別添：後備炉停止棒駆動機構概要図

以上